

資料提供
(教育・南部同時)

提供日：令和3年(2021年)9月29日(水)
部局：琵琶湖環境部
所属：滋賀県立琵琶湖博物館
担当：林竜馬・中井克樹
電話：077-568-4811
E-mail：de52pr@pref.shiga.lg.jp



ねんこう 福井県年縞博物館との連携事業を実施します

令和2年(2020年)7月30日に開催された滋賀県・福井県知事懇談会における合意事項に基づき、広域的な交流の促進を目的として、滋賀県立琵琶湖博物館と福井県年縞博物館との連携事業「琵琶湖-水月湖 湖ラボ展」を、下記の要領で、琵琶湖博物館のA展示室において開催します。

年縞は湖底などの堆積物にできる縞模様で、明暗1対の縞が1年に相当します。福井県三方五湖のひとつ水月湖は、湖底堆積物に約7万年にわたり途切れることなく年縞が形成された「奇跡の湖」と言われ、その年縞は考古学や地質学の年代測定における「世界標準のものさし」とされています。本事業では、年縞博物館の所蔵する「水月湖年縞ステンドグラス」をはじめ、国内外の貴重な年縞堆積物の実物標本を展示します。

【連携事業の内容】

名称：琵琶湖-水月湖 湖ラボ展「季節がつくりだす地層の縞模様-年縞」

場所：琵琶湖博物館 A展示室 「地域の人々の展示コーナー」周辺

期間：令和3年(2021年)10月1日(金)～11月14日(日)

展示物：・水月湖年縞ステンドグラス E-38 (約4万7000年前)

- ・長野県深見ノ池のコアはぎとり試料(長さ320cm程度、AD1700年頃から現在)
- ・死海(リサン湖)の年縞の露頭のブロックサンプル(50cm程度2個、それぞれ約2万7000年前と約3万年前)



水月湖年縞ステンドグラス

※今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、企画内容が変更または中止になる場合があります。最新の情報については、琵琶湖博物館のホームページ等をご確認ください。

琵琶湖—水月湖 湖ラボ展「季節がつくりだす地層の縞模様—年縞」（琵琶湖博物館展示）

場 所：琵琶湖博物館 A 展示室 「地域の人々の展示コーナー」 周辺

期 間：令和3年（2021年）10月1日（金）～11月14日（日）

展示物の概要

展示物	内 容	サイズ
水月湖年縞ステンド グラス E-38 4 万 7392±261～4 万 8745±143 年前	水月湖の湖底から掘り出した年縞の実物。黒い夏の層と白い冬の層の 1 対で 1 年となる。博物館の展示資料にするため、樹脂で固め、1mm の 20 分の1まで薄くした。側面から光を当てて、縞をよく観察できるようにしている。この E-38 ステンドグラスは 7 万年の中でも古い時代のもので、圧力がわかり、1 年の層が非常に細かい。	ステンドグラス本体 縦 10cm×横 120cm
		
深見ノ池(長野県) 年縞堆積物 18 世紀～現代	17 世紀半ばに起こった地震でできた池の底にある年縞堆積物。池にはそれ以降の年縞が堆積していることが確認されているが、資料はおよそ 18 世紀からのものである。1 年の層は厚く、数 cm に及ぶ年もある。そのため、季節ごとなどの詳細な環境復元ができることで研究者が注目している。18 世紀以降の 2 回の大洪水と 2 回の大地震を記録している。	上:縦9cm×横92cm× 高さ8.5cm 中:縦 9cm×横 118cm ×高さ 8.5cm 下:縦 9cm×横 119cm ×高さ 8.5cm
		
死海(リサン湖)の年 縞堆積物 2 万 7000 年前(下) と約 3 万年前(上)	約 7 万年前から 1 万 4500 年前、死海の湖水面は今よりも広く、一番広い時代には水面は現在より 200m も高かったと推定されている。蒸発により当時の年縞堆積物が周辺に露出して観察できる。死海周辺は乾燥地で乾季と雨季がある。乾季に炭酸カルシウムの白い層が堆積する乾燥地の典型的な年縞である。	上:縦 11cm×横 50cm ×高さ 7cm 下:縦 11cm×横 60cm ×高さ 7cm
		